



一人ひとりの夢・思いを大切に
しなふくニュース

編集人 しなふくニュース編集委員会 発行人 市原 勝祐
発行所 品川総合福祉センター 〒140-0003 東京都品川区八潮5-1-1
電話 03(3790)4839 法人URL <http://www.shinafuku.com> E-mail info@shinafuku.org



毎年恒例のみかん狩り旅行
での集合写真(かもめ園知的)

平成29年10月25日撮影

- 目次**
- (1) らうんじ
 - (2) ~ (5) 平成29年度事業報告
 - (6) 寄付者一覧・決算報告
 - (7) 事業活動収支計算書
 - (8) 接遇状況調査へのご協力のお礼
後援会案内・こどものつどい・しなふくの窓

らうんじ

緑が多く四季の移り変わりを感じさせてくれる八潮団地に品川総合福祉センターがあります。かもめ園(身体)では、かえで荘と合同で開催している園芸サークルがあります。二施設合同で行う親子で参加できる唯一のサークルです。

日本園芸療法研修会のご協力を得ながら、利用者が種や苗を植え、植物が成長していく様子を見守り、収穫する楽しみや開花する花を愛で、心を動かし感動出来る事は大変素晴らしいと思います。

「次は何を育てようか?何を食べたいか?品評会で入賞したいね」など考え、利用者の自己表現を達成できる活動の一つであり、職員はその実現のためのサポートをさせていただきます。

植物の成長は天候に左右されることが多く、途中で失敗し枯れてしまうことも多々あります。でも利用者の成功体験が多くなり、また笑顔が日々続くよう支援をしていきたいと考えながら、共に楽しませていただいています。

このようなことは福祉職だけでは実現できず、専門的な知識を持つ方々の協力によって深みのある支援に結びつくことに感謝する日々です。これからも引き続きよろしくと。かもめ園身体障害部門

施設長 奥田美紀

平成二十九年 事業報告

品川総合福祉センター

平成二十九年度も引き続き法人全体で利用者ニーズに 대응べくサービスの質を高め、利用率の向上を進めてきました。

新規受託事業は品川区から大井三丁目高齢者憩いの場を受託、四月に開所、高齢者を中心に多世代交流を目指しデザインした地域の小さな福祉拠点として事業を進めてきました。

福祉工場しながわパン工房プチレーブは、二葉へ移転後二年目を迎え、さらに販売促進、収益の拡大に向け創意工夫を重ね、品川区立中小企業センター一階ロビーにカフェを開店させました。

施設整備においては、障害者施設の防犯対策強化を東京都及び品川区の補助事業を活用して実施、防犯カメラ、非常通報装置等の設置を進め、全面強化に向けた環境整備を

進めました。

一方、優秀な人材確保が法人の事業継続にとり不可欠であり、職員の採用、育成、定着に向け採用活動、人材育成、働きやすい職場作りを力尽くしてきました。

また、法人の組織統治をさらに強化するため、理事会や評議員会等の役割や権限、責任の範囲等を明確化し、併せて財務規律の確立に向け会計監査人を設置、計算書類に対する監査体制を整備、経営面の体制整備を進めました。

かえで荘

職員体制が万全とはえない状況でしたが、特養は目標稼働率を達成することができました。これはとても大きな成果だと

思っており、利用者の方の健康状態



力を合わせて寄せ植え作成中 (園芸サークル)

態が比較的安定しており、昨年に比べると入れ替わりが少ないことも好要因となりました。

感染症関連で湿度等、生活環境の徹底、外来者への感染予防対策の協力依頼などが功を奏し、インフルエンザの罹患者はゼロでした。また、介護士の痰吸引の研修受講を例年より増員し、医療ニーズに応えられるよう体制整備を図りました。

中延特別養護老人ホーム

毎年特色を持って行っている園芸サークルでは、スイカの栽培を行い、収穫したスイカでスイカ割を行い、皆さん楽しいひと時を過ごしました。また、しそジュースも作り、夏の味わいをおいしくいただきました。

近年取り組みをすすめている特別養護老人ホームでの看取り介護は、一年間で十二名の方をお送りをしました。ご家族・医師・看護師・介護士その他スタッフが連携し、本

人・ご家族の「病院ではないな、慣れた環境でその方らしい最期を迎えたい」という希望に沿い、お手伝いをさせていただきました。

八潮南特別養護老人ホーム

昨年から継続して利用者一人ひとりにとっての安全や安心を優先する生活の支援を目指しました。また、季節にちなんだお茶会やお祭りなどの催しを月一回程度行い、利用者が生活の中に楽しみを感じられる取り組みを実施しました。

要介護度改善ケアについても施設の役割として取り組んでいます。一部のフロアで数名のインフルエンザの感染者が出ましたが、環境整備、消毒等を強化し、拡大もなく終息できました。



いい香りのしそを沢山収穫！ジュースが楽しみ

八潮南グループホーム

入居者一人ひとりが、生活の中で家事を分担し、書道、華道、園芸の指導をしていたなど等、仕事や得意分野を発揮する機会を作り支援しました。歌のボランティア、地域のご協力による賞鑑賞なども定着し、利用者の楽しみとなりました。開所後七年が経ち、高齢の方、介護をより必要とする方が増え、入退院も多くなりました。

今まで以上にきめ細かい健康管理、医療連携の必要性を感じています。感染症関連では、予防に努め、発生はありませんでした。

大井在宅サービスセンター

「男性利用者が落ち着くデイサービスセンター」として、様々な工夫を凝らし好評を得ました。

また「朝起きるのが苦手」という方のためにもお迎えに上がる車の時間の調整をさせていただきますなど、利用されるご本人の生活リズムにあった

サービスを提供しています。その他、充実したメニューの趣味活動からお好きなものを選ぶことが出来るようにサービス提供を進めました。



新年イベントのひとつ
南京玉すだれで盛りあげました

大井在宅介護支援センター 大井第二在宅介護支援センター

安心して生活できる地域づくりのための認知症カフェと、認知症サポーター養成講座、そしてもっと深く学びたいと言われる方々のため、認知症サポーターレベルアップ講座を企画運営しました。

八潮在宅サービスセンター

引き続き日々のサービス向上に努め、利用者、ご家族の要望に細やかに対応し、サービスの向上を図りました。体調不調等で入院、施設入所となる方、要支援から要介護となる方も多く、支援内容も多様性が高まっています。

今年度も利用者のニーズに対応できるように、努めていきます。

八潮在宅介護支援センター

高齢化の進む八潮地区において、地域団体等を対象とした認知症サポーター養成講座の他、八潮在宅サービスセンターと共に「オレンジカフェ」を開催しました。

地域からの要請で介護保険等についての講座も行っており、今年度も引き続き、自治会や事業所との連携を図り、地域活動の推進に努めたいと思います。

中延在宅サービスセンター

認知症対応型通所介護はご利用者の増加に伴い、定員を

十名から十二名に変更しました。また入浴設備（機械式浴槽）も新たに購入し、利用者の様々なニーズにお応えできるようにになりました。



タブレットで、
脳トレに奮闘中!

る脳トレの導入や、和食レストランでの食事付き外出等、利用者の満足度を高める改善を進めました。

中延在宅介護支援センター

前年度から事業所一階ロビーで毎月第三木曜日にコミュニケーションカフェ「喫茶せせらぎ」を運営しています。当法人のプチレーブのパン販売が定着し、徐々に利用者が増えており、幅広い年代の方々にご利用して頂けるようになりました。これからも、地域特性を活かし親しみやすい支援センターをめざして力を尽くします。

かもめ園(身体)

利用者の重度・高齢化に伴い、夜勤体制を二名配置から三名配置へ変更するなど、業務の見直しを実施しました。医療的処置が必要な利用者も



お花見で、全員で記念写真！
笑顔があふれています

も多く在籍したため、看護師体制の強化を行い、早期発見・早期治療に結びました。在宅利用者の通所受け入れも視野に入れ、新年度に向けた調整を実施、短期入所については、緊急利用の要望に対し柔軟に対応しました。東京都、品川区からの補助を活用し、施設の防犯対策強化を実施し、安全な生活環境の整備を進めました。

かもめ園(知的)

体の状態に合わせてグループで行なう課題別活動や、希

望に応じて職員がマンツーマンで対応する個別活動に力を入れました。

また、全園で行なった行事やバイキング食事会などにも趣向を凝らし、生活の中での楽しみを拡大していくように進めました。

フロアの構成は前年度から状況に応じた三フロアで、医療的な対応やリハビリ、高齢化に則した生活支援を行なっています。健康管理や疾病の予防にも重点を置き、感染症などもなく過ごせました。

さつき

各部門で業者との関係性を大切にしながら、軽作業、クリーニング作業や、売店、喫茶の営業を進め、安定した仕事の提供や工賃の向上にも取り組まれました。また、作業の後のサロン・カラオケも好評で沢山の参加が加



伊豆へ一泊旅行へ
行きました

した。

一方、利用者の高齢化が顕著で、退所された方も複数あり、今後は、出来るだけ通所していただくことが出来るような環境作りを進め、引き続き本人やご家族への相談支援にも力を入れていきます。

サンかもめ

利用者一人ひとりに応じた自己実現や自立をめざし事業展開をしました。

通常活動の他、外出支援等生活の幅を広げる機会を設けたり、地域とのつながりを意識したりサイクル活動や品川区の支援を受けアールブリュット活動を継続実施しました。例年に比べ多くの退所者があり、年度末には四名の新入所者を迎えています。

また品川区防犯対策事業の補助を受け、防犯カメラと非常通報装置を設置しました。

なぎさの家

鮫洲なぎさの家では、昨年度入居者の交替がありました。混乱もなく、安定した生活

支援を進める事が出来ました。

ご家族、利用者が高齢化が進み帰宅が難しくなる中、週末や休日の過ごし方についても支援の必要性、重要性が高くなっています。

福祉工場しながわ

清掃は引き続き品川区内の公園や児童センター等の建物清掃を行ない、製パン事業は近隣の学校への販売を始め、また、福井県坂井市のアンテナショップとタイアップして甘エビを使った商品を期間限定で売り出しました。



寒い日も暑い日も、
公園清掃に頑張っています

品川区立中小企業センターのカフェも区民の憩いの場となっています。製陶事業は安定した受注、生産を保っています。その他納涼会、旅行、忘年会に多くの従業員が参加し、日々の業務を労うなど交流を図っています。

八潮中央保育園

心身の健やかな発達を促すために、豊かな自然環境の中で体を動かす活動を多く取り入れました。



春の穏やかな天候の中での
お散歩…。きれいなお花の下で
みんな笑顔です！

また、保育の質の向上を目指して「食事」をテーマに、外部講師による研修を実施し、乳児の食事介助の方法を学んだり、食事の提供方法について話し合いを重ねることで、全員の意識統一に結びました。健康面では、感染性胃腸炎やインフルエンザが流行した為、感染拡大防止に努めました。

また、事故や子ども同士のやり取りの中でのケガについ

て、その都度、状況を分析し、安全管理と保育環境の見直しを行い再発防止に努めました。

心身障害者福祉会館

生活介護事業では「個別支援日をプログラムに設定する」「作業療法士・理学療法士との連携強化を図りグループ訓練を継続する」といった会館生活介護の特色を活かして支援を行いました。

ここ何年か計画的に行ってきた設備改修も、外壁塗装を終えて装い新たに新年度を迎えました。引き続き、会館としての特色を生かした事業を進めます。



大きく変わった会館の外観

大井三丁目高齢者憩いの場

「可愛い、街の福祉拠点ができました」

平成二十八年度中から開設準備を進め、平成二九年四月二十七日に開



「ひなたぼっこ」で
工作タオル犬制作！

所式を開催、高齢者を中心に多世代交流を進める地域の福祉拠点として事業を開始しました。事業は「誰もが気軽に立ち寄れる憩いの場」作りを品川区社会福祉協議会と連携し、進めました。

九月には地域交流事業（こすもすパーティー）を実施、十月からは地域密着型の地域ミニデイを開始しました。

実際の運営は職員による運営委員会を組織、事業を企画、準備、分担、実施し、その過程で地域のボランティア、関係機関の協力を得て、さらに地域交流が進みました。近隣住民の皆さんが気軽に立ち寄れる憩いの場を目指します。

地域福祉課

地域福祉課は、地域福祉力向上を目指し、地域交流活動・福祉教育活動・広報活動を実施してきました。

新規事業の大井三丁目高齢者憩いの場では、多世代交流が集う「ひなたぼっこ」の企画、運営を行いました。

また、法人の理念である「地域とともに」を実践すべく、「楽しいバザー五月祭り」

「紅葉まつり」の開催、平成三十年度に向けて地域交流事業の見直しを行いました。

「こどものつどい」では、企業ボランティア、青少年ボランティア役立ち隊の協力で実施し好評を博しました。



紅葉まつりの抽選会は大好評！
沢山の笑顔であふれました

平成29年度のご寄付

皆様から、ご寄付をいただきました。心よりお礼申し上げます。

五十音順敬称略

個人

飯野 由己子	小野 孝	門向 都	杉田 由美子	西島 信夫	矢部 正美	吉沢 一己
石沢 甚十郎	小俣 克文	川山 鐘治	須藤 英雄	日比 ミリ子	山口 睦子	
井上 洋子	勝野 巽	島崎 妙子	田原 政義	水野谷 育男	山下 隆	
岡田 耕一	加藤 久明	菅澤 政夫	竹澤 みどり	宮地 恵美子	横部 美枝	

団体

イトーヨーカドー労働組合大井町支部	かもめ国家族会(知的)	(社福)福栄会	都営中延六丁目アパート自治会	八潮地区防災協議会	(有)マルダイ大塚好雄商店
魚栄	品川区視覚障害者福祉協議会	勝健館須藤道場	西中三親友会	八潮地区民生委員協議会	ゆたか在宅福祉サービス
荏原第四地区民生委員協議会	品川区重症心身障害児者を守る会	青少年対策八潮地区委員会	ベストフードサービス(株)	八潮中央保育園父母の会	
荏原町町会	品川区知的障害者育成会	地域生花サークル一同	八潮わかば幼稚園	八潮2号棟自治会	
大井坂下町会	品川総合福祉センター家族会	中六さくら会	八潮学園	八潮西自治会	
大井第一地区民生委員会協議会	(社福)さくら会	ディ・エス・スタッフ(株)代表取締役 入澤理沙	八潮50号棟自治会	八潮四号棟自治会	
狛品川都市整備公社	(社福)品川区社会福祉協議会	東京善意銀行	八潮五八・五九号棟自治会	八潮四十号棟自治会	
かもめ国家族会(身体)	(社福)春光福祉会	東京都荏原歯科医師会	八潮自治会連合会	八潮六十号棟自治会	

貸借対照表

平成 30 年 03 月 31 日 現在

平成29年度 社会福祉法人 品川総合福祉センター 法人事業合計

(単位：円)

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	1,277,163,920	1,256,903,783	20,260,137	流動負債	298,044,511	234,551,229	63,493,282
現金預金		880,014,569	△880,014,569	事業未払金		94,354,644	△94,354,644
事業未収金		366,499,107	△366,499,107	1年以内返済予定設備資金借入金	10,010,000	10,010,000	
商品・製品	1,852,131	2,329,817	△477,686	預り金	21,899,510	17,750,542	4,148,968
原材料	1,442,427	1,180,663	261,764	職員預り金	27,756,119	11,236,043	16,520,076
立替金	618,798	499,556	119,242	賞与引当金	90,132,000	101,200,000	△11,068,000
前払金	1,329,084	758,024	571,060	固定負債	293,840,662	298,886,484	△5,045,822
前払費用	336,044	319,224	16,820	設備資金借入金	118,450,000	128,460,000	△10,010,000
仮払金	6,934,900	7,398,823	△463,923	退職給付引当金	175,390,662	170,426,484	4,964,178
徴収不能引当金	△3,787,000	△2,096,000	△1,691,000	負債の部合計	591,885,173	533,437,713	58,447,460
固定資産	1,852,639,703	1,929,208,638	△76,568,935	純資産の部			
(基本財産)		1,113,223,120	△1,113,223,120	基本金	1,000,000	230,000,000	△229,000,000
建物	1,029,299,244	1,112,223,120	△82,923,876	国庫補助金等特別積立金	666,549,098	713,815,173	△47,266,075
定期預金	1,000,000	1,000,000		その他の積立金	529,103,615	217,978,035	311,125,580
(その他の固定資産)		815,985,518	△815,985,518	人件費積立金	32,000,000	32,000,000	
建物	4,069,801		4,069,801	修繕積立金	15,000,000	15,000,000	
車輛運搬具	10,876,510	10,167,153	709,357	備品等購入積立金	9,520,000	9,520,000	
器具及び備品	91,809,221	100,840,679	△9,031,458	工賃変動積立金	600,000	600,000	
ソフトウェア	9,875,862	5,400,057	4,475,805	設備等整備積立金	6,500,000	6,500,000	
投資有価証券	230,014,095	310,706,200	△80,692,105	設備更新積立金	236,483,615	154,358,035	82,125,580
退職給付引当資産	175,390,662	170,426,484	4,964,178	施設運営費積立金	229,000,000		229,000,000
人件費積立資産	32,000,000	32,000,000		次期繰越活動増減差額	1,341,265,737	1,490,881,500	△149,615,763
修繕積立資産	15,000,000	15,000,000		(うち当期活動増減差額)	△67,490,183	△178,985,953	111,495,770
備品等購入積立資産	9,520,000	9,520,000		純資産の部合計	2,537,918,450	2,652,674,708	△114,756,258
工賃変動積立資産	600,000	600,000					
設備等整備積立資産	6,500,000	6,500,000					
設備更新積立資産	236,483,615	154,358,035	82,125,580				
差入保証金	70,000	70,000					
長期前払費用	130,693	396,910	△266,217				
資産の部合計	3,129,803,623	3,186,112,421	△56,308,798	負債及び純資産の部合計	3,129,803,623	3,186,112,421	△56,308,798

事業活動計算書

(自) 平成 29 年 04 月 01 日 (至) 平成 30 年 03 月 31 日

社会福祉法人 品川総合福祉センター 法人事業合計

(単位：円)

勘定科目		本年度決算	前年度決算	増減	
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	1,798,432,258	1,754,286,399	44,145,859
		保育事業収益	201,039,120	187,369,830	13,669,290
		就労支援事業収益	135,282,689	130,425,393	4,857,296
		障害福祉サービス等事業収益	1,086,254,766	1,005,466,181	80,788,585
		公益事業収益	40,395,463	31,068,232	9,327,231
		経常経費寄附金収益	1,747,467	3,025,727	△1,278,260
		その他の収益	2,203,152	2,241,820	△38,668
		サービス活動収益計 (1)	3,265,354,915	3,113,883,582	151,471,333
	費用	人件費	2,186,019,360	2,166,925,413	19,093,947
		事業費	377,817,811	366,427,040	11,390,771
事務費		553,262,912	545,876,207	7,386,705	
就労支援事業費用		189,690,419	184,552,343	5,138,076	
利用者負担軽減額		69,921	275,274	△205,353	
減価償却費		128,327,328	127,613,290	714,038	
国庫補助金等特別積立金取崩額		△63,227,379	△63,009,277	△218,102	
徴収不能額			7,360	△7,360	
徴収不能引当金繰入	1,691,000	2,096,000	△405,000		
サービス活動費用計 (2)	3,373,651,372	3,330,763,650	42,887,722		
サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2)	△108,296,457	△216,880,068	108,583,611		
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	437,129	400,449	36,680
		投資有価証券評価益		56,000	△56,000
		投資有価証券売却益		16,000	△16,000
		その他のサービス活動外収益	42,995,314	42,548,431	446,883
	サービス活動外収益計 (4)	43,432,443	43,020,880	411,563	
	費用	投資有価証券評価損	652,105	855,350	△203,245
		投資有価証券売却損	40,000		40,000
		その他のサービス活動外費用	2,233,050	2,233,684	△634
		サービス活動外費用計 (5)	2,925,155	3,089,034	△163,879
	サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)	40,507,288	39,931,846	575,442	
経常増減差額 (7)=(3)+(6)	△67,789,169	△176,948,222	109,159,053		
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	15,961,304	4,000,000	11,961,304
		固定資産受贈額	150,000	188,190	△38,190
		その他の特別収益	148,997	8,333,810	△8,184,813
	特別収益計 (8)	16,260,301	12,522,000	3,738,301	
	費用	固定資産売却損・処分損	11	17,695,078	△17,695,067
		国庫補助金等特別積立金取崩額 (除却等)		△7,157,347	7,157,347
		国庫補助金等特別積立金積立額	15,961,304	4,000,000	11,961,304
		その他の特別損失		22,000	△22,000
	特別費用計 (9)	15,961,315	14,559,731	1,401,584	
	特別増減差額 (10)=(8)-(9)	298,986	△2,037,731	2,336,717	
当期活動増減差額 (11)=(7)+(10)	△67,490,183	△178,985,953	111,495,770		
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額 (12)	1,490,881,500	1,575,869,823	△84,988,323	
	当期末繰越活動増減差額 (13)=(11)+(12)	1,423,391,317	1,396,883,870	26,507,447	
	基本金取崩額 (14)	229,000,000		229,000,000	
	その他の積立金取崩額 (15)		139,491,440	△139,491,440	
	その他の積立金積立額 (16)	311,125,580	45,493,810	265,631,770	
	次期繰越活動増減差額 (17)=(13)+(14)+(15)+(16)	1,341,265,737	1,490,881,500	△149,615,763	

「利用者の皆様をお願いする職員の接遇状況調査」へのご協力のお礼

利用者・ご家族の皆様へ

本年一〜二月にかけてご多忙の中、標記の調査にご協力いただきましてありがとうございました。

今回の調査は私たち法人職員の利用者・ご家族の皆様への応対、実際の支援状況について確認させていただくことを目的に実施しました。調査票の配布数



かき氷には手作りの梅シロップをたっぷり
(八潮在宅SC)

は八二一部、回収率は五五七部、六七・八%、「職員の皆さまへ支援の態度は適切です

か？」の設問では「はい」の回答が九一・八%、「いいえ」が五・二%、実際の支援の現場で我々職員の言動にさらなる改善対策が必要という結果



ベランダでお茶を飲みながら野球観戦
(八潮南特養)

でした。自由記述では「職員が挨拶しない」「一部職員の言い方が少しきついです。」などのご指摘がありました。実際に皆様との応対の際にそのような受け止められる状況があることを認識いたしました。

今回、この結果を重く受けとめ、苦情解決第三者委員会等に検証を依頼、人材育成に對し助言等をいただきながら、今後の職員指導、サービス向上に活かしてまいります。ご協力ありがとうございました。

いつものごい案件

毎年恒例大人気のこどものつどい。今回は数種類の工作づくり、簡単な手品を覚えて遊びます。綿あめやポップコーンのお楽しみもあります。
日時／平成三十年八月四日(土) 午前十時〜十二時
場所／品川総合福祉センター 一階(八潮五〜一〜)
対象／小学生・幼児・施設の利用者 先着二十名
参加費／無料 電話でお申込ください。
(〇三三三七九〇一四八三九)

後援会の案内

品川総合福祉センター 後援会 ご入会のお願いく後援会では、利用者の皆さんが楽しみにされているカラオケ機や大型テレビ、福祉車両など、法人が運営する施設の整備や充実を図るために活動してまいります。皆様のご協力をお願いいたします。
会費は月額一口三百円、一年分三千六百元となります。
後援会事務局 地域福祉課 電話〇三三三七九〇一四八三九

しなふくの窓

しなふく売店が、現在の位置に移転したのが、平成十九年五月六日。当時売店の名称を職員に公募し決定したのが「はなみずき」。
はなみずきは三十五年前に法人が開設した時から、売店の前に植樹されてきました。
花言葉は「私の想いを受止めて」
また、英語の花言葉は「永続性、耐久性」と当時、新しく生まれ変わった売店への想いが込められました。

